

秋ノ八裏

大井川ゐせきによどむ水の面へおもへに

秋ふかくなるほどはしらるゝ

奈良へならの興福寺へこうぶくじにまいりて侍しに所から

にやさる沢へさはの池へいけの浪へなみへあはれたちそふこゝ

ちしてゆふべかなしき風のけしきも何へなにへ

叟へごととしもなく心すみ侍りしにうねめ

が身なげしむかし思ひ出られて月を

なかつてよみ侍りし

あはれなる玉もなみよるさる沢の